

平成28年度学校評価 自己評価の結果について

桐生市立境野小学校

1 境野小学校のこれまでの取組

境野小学校では、学校教育目標の達成を目指し、様々な取組を行ってきました。主な取組は以下のようです。

<学校教育目標>

ゆたかな子 たくましい子 かしこい子

<主な取組>

I 保護者との連携

○ 「〇〇だより」などの定期的な発行。 魅力的な学級・学年懇談会の工夫。 など

II 確かな学力

○ 体験的な学習や個に応じた指導。 朝読書の推進。 「学びウィーク」の実施。 など

III 豊かな心

○ 人権アンケート等による実態の把握、問題の早期発見。 あいさつ運動の実施。 道徳の時間の充実。 など

IV 健康・体力

○ 学校・保健だより等による啓発。 休み時間には外で遊ぶよう呼びかける。 など

V 安全確保

○ 毎月の安全点検の実施。 各種避難訓練の実施。 職員及び PTA によるパトロールの実施。 集団下校・一斉下校の実施。 「境野小よい子のきまり」の指導の徹底。 など

VI 夢や希望

○ 「志プロジェクト」の実施。 夢や希望について考える機会の確保。 など

2 自己評価の結果

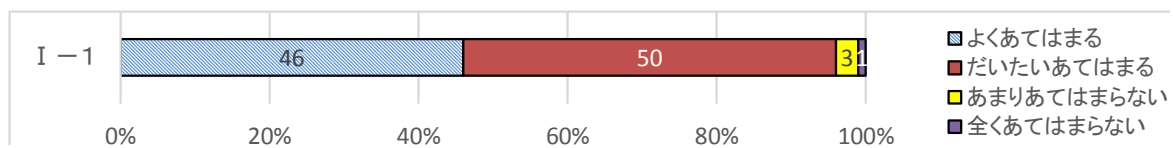
上記の I～VI のことについて、それぞれ評価項目を設けました。そして、取組状況は十分であったか、子どもたちが望ましい姿に変容したかなど、各項目について保護者や教員、子どもたちにもアンケート調査を行いました。

(1) アンケート調査の結果

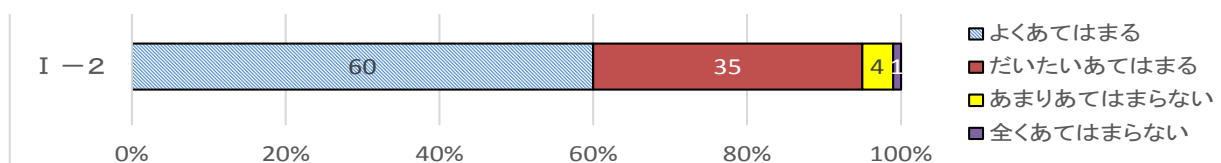
() 内は、調査対象者。

I 保護者との連携

I-1 学校・学年通信は、学校の様子や取組が分かりやすい。(保護者)

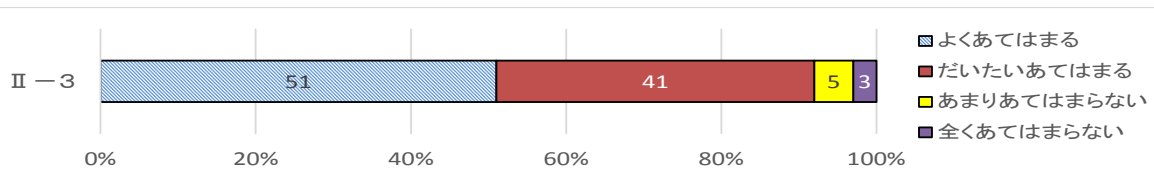


I-2 授業参観等の学校行事によく出席している。(保護者)

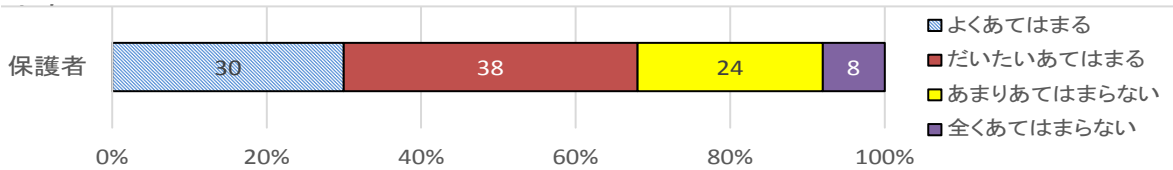


II 確かな学力

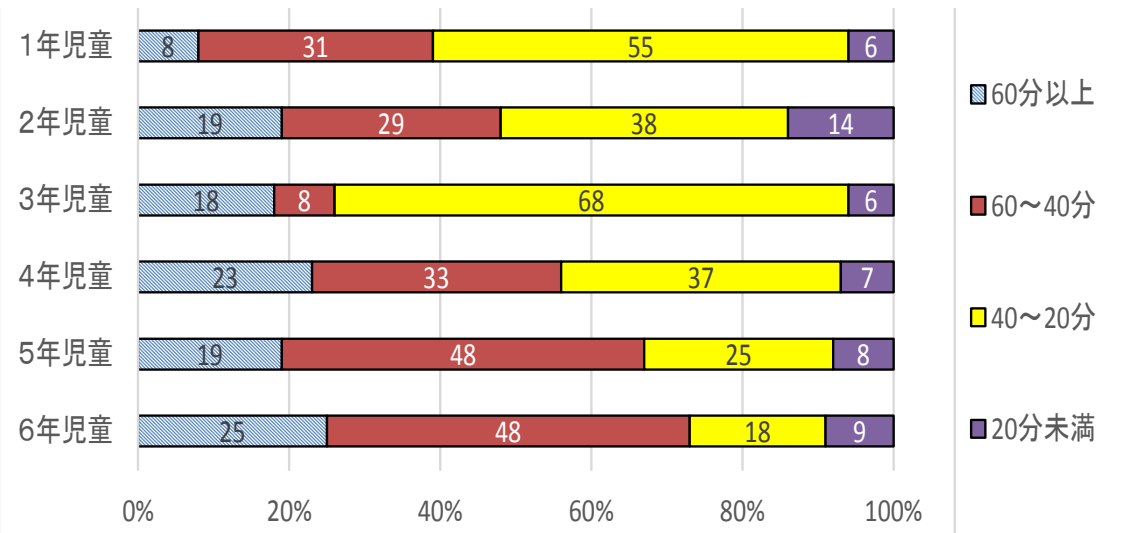
II-3 学校の授業は、分かりやすい。(児童)



II-4 お子さんは、宿題を含めて〔学年×10分くらい〕学習や読書をしている。(保護者)

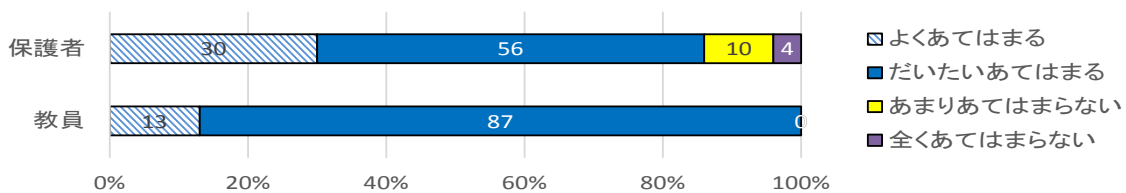
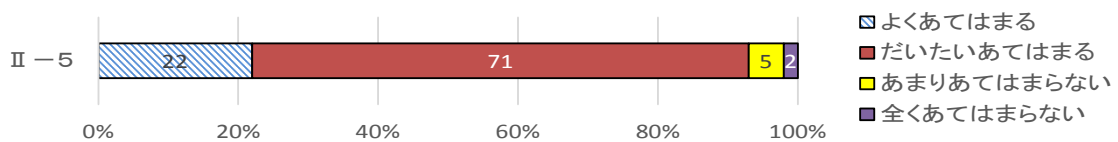


家では、毎日宿題や自主勉強をどのくらいしていますか。(児童)

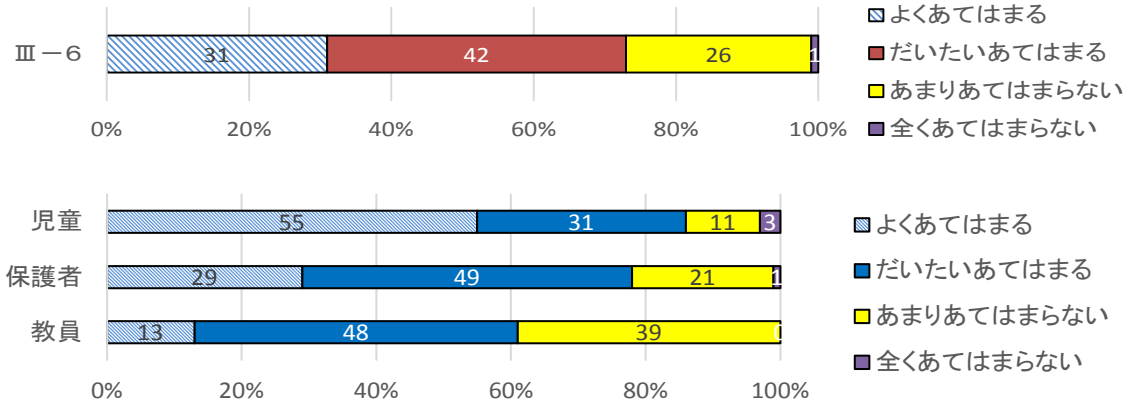


III 豊かな心

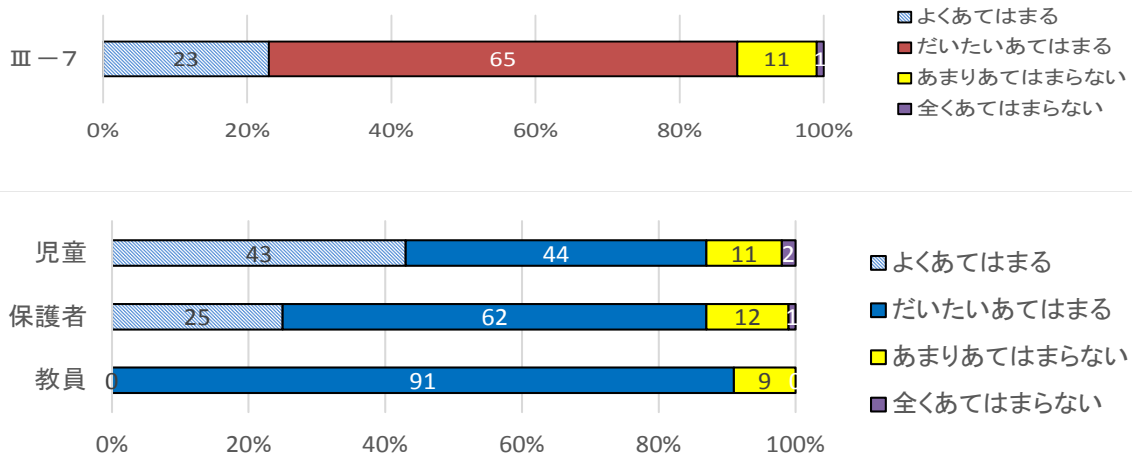
III-5 いじめのない温かな人間関係が育っている。(保護者・教員)



Ⅲ－６ 進んであいさつをすることができる。(児童・保護者・教員)

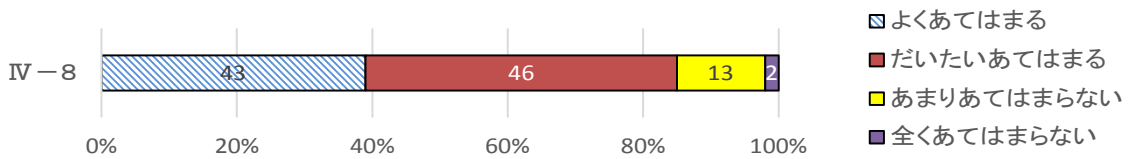


Ⅲ－７ 相手の立場や気持ちを考えた行動がとれる。(児童・保護者・教員)

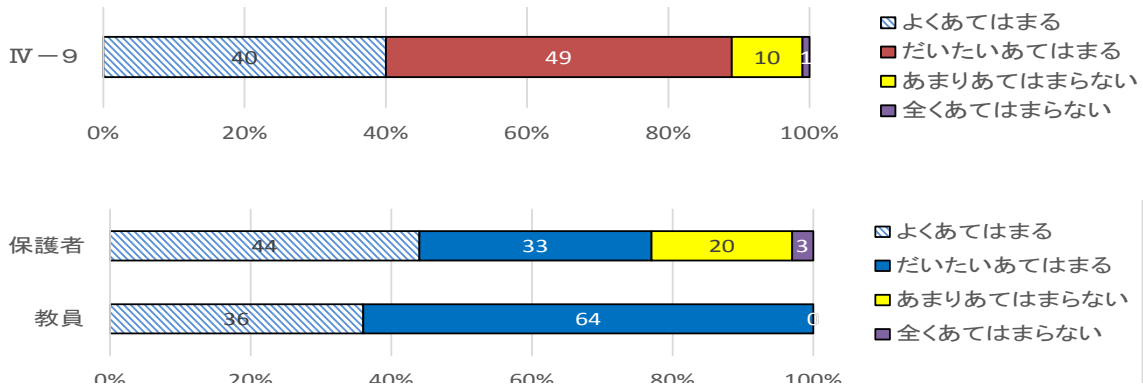


Ⅳ 健康づくり

Ⅳ－８ 食事や睡眠をとり、規則正しい生活を送っている。(保護者)

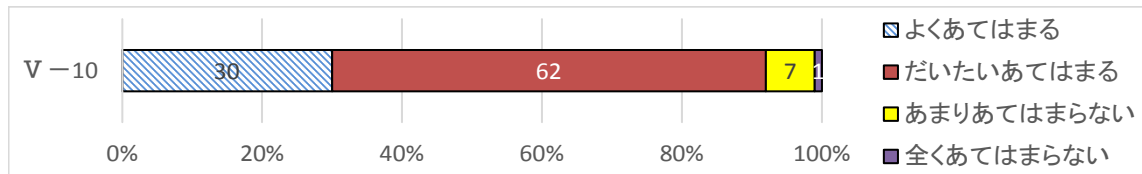


Ⅳ－９ 日頃から外で遊んだり、運動したりしている。(保護者・教員)

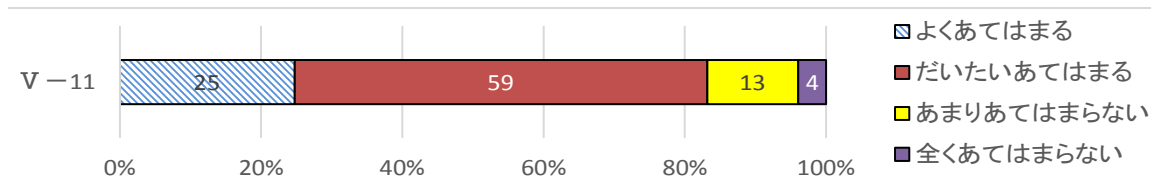


V 安全確保

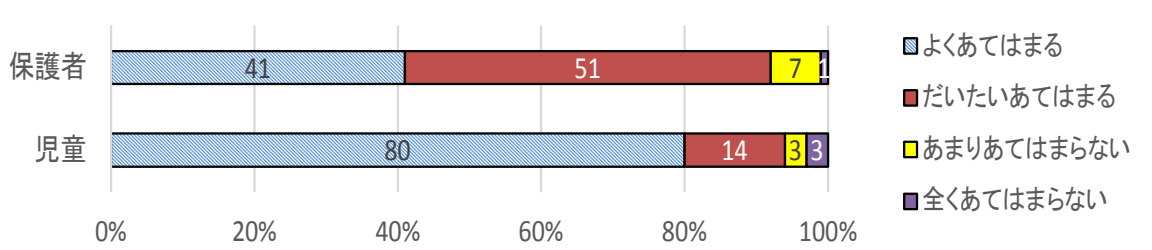
V-10 境野小は、施設の安全や避難訓練などの対策が十分にされている。(保護者)



V-11 境野小は、登下校の安全対策がとられている。(保護者)

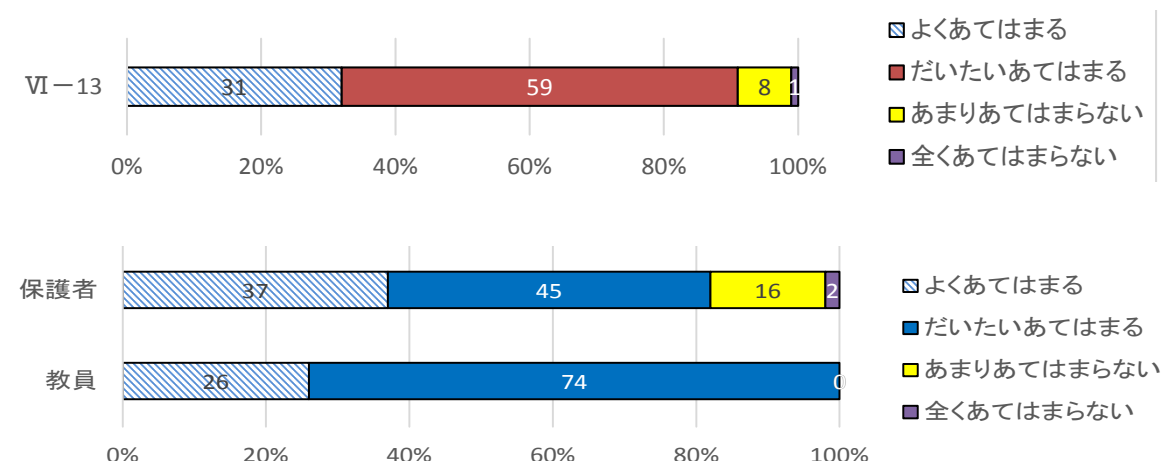


V-12 お子さんは、外出の際、行き先や帰宅時刻を知らせたり、やってはいけない行動を理解したりできている。(保護者・児童)



VI 夢や希望

VI-13 将来の夢や希望を育てている。(保護者・教員)



(2) アンケート結果の分析

I 家庭との連携

「公開授業が縮小されたことが残念」との意見が、複数の学年からありました。検討いたします。また、「学校行事が毎週のように予定されていると、仕事の関係で出席できないので、行事を分散してほしい」という意見もありました。来年度の行事予定作成の際に、配慮したいと思います。

「学級通信が分かりやすく、楽しい」という評価をいただいた学級がありました。担任の励みになります。

II 確かな学力

境野小では、〔学年×10分〕程度の家庭学習を奨励しています。この目標の達成率は、高学年ほど低いです。特に高学年に「20分未満」の児童が1割近くいるのは問題です。「全国学力・学習状況調査」でも、全国の6年生の62%以上は「毎日1時間以上、家庭学習をしている」そうです。高学年は、「毎日1時間以上」の家庭学習を目指してほしいと思います。

また、上記調査や保健の調査では、本校の児童は、「メディアにかかわる時間が長い」という結果が出ています。睡眠時間は十分にとれているのか心配です。

「家庭学習」については、本年度同様、全校の課題としたいと思いますが、食事やメディア、入浴や翌日の準備など、家庭での過ごし方を考え、家庭生活の中に「家庭学習」がきちんと位置付けられるようにしたいと思います。

「授業が、勉強のできる子中心に進められているのではないか」「宿題が出ないと、家庭学習ができない」等の意見もありました。低学年は宿題だけでもよいでしょう。習慣付けることが何より大切です。しかし、高学年は「宿題だけ」というのは考えものです。与えられたことだけをこなすような勉強の仕方では、学力の向上は望めません。家庭学習を工夫すれば、自分の弱点を強くすることだってできます。自分の得意なことをさらに伸ばすこともできます。

家庭学習と授業とを関連付けることも大切です。「『明日、先生に質問すること』を、80字以内で書く。」というのだって立派な家庭学習になります。分からないから質問するのですが、理解が進んでくると、より高度で焦点化された質問ができるようになるのです。いい質問ができるようになれば、学力は向上します。

家庭学習は、時間だけでなく、内容を充実させることも必要です。

また、「学校図書館の放課後開放」「黒板からホワイトボードへの変更」等につきましては、管理面、予算面の関係で、意見には添えないと思います。

III 豊かな心

昨年度より桐生市では、5・6年生を対象に「Q-U」という心理検査を行っています。これは、児童一人一人の学級生活での満足度や意欲などを調べ、学級集団の状態を把握することで、学級経営に役立てようとするものです。本年度もこうした検査や毎月のいじめ調査を活用して、いじめのない温かな人間関係づくりを行っています。

しかし、「いじめがあるのではないか」との意見がありました。教師の観察やアンケート調査を併せても、いじめの発見率は半分程度と言われています。具体的ないじめの兆候等が見られた場合は、すぐに担任にお知らせください。また、「(子どもや先生の)言葉遣いがよくない」とのご指摘もありました。気を付けてまいります。

本アンケートで最も達成率が低かったのは、「あいさつ」です。児童は8割以上が「できている」と答えていますが、保護者と教師はいずれも、「できている」が7割に達しません。これも本年度から継続して全校の課題とします。

IV 健康づくり

運動能力調査の結果では、本校はほとんどの種目で県の平均を上回っていますので、全体的には問題ないと思いますが、運動をする子としない子の二極化が進んでいるように思います。この傾向は、全国的のようです。

生活習慣については、全国学力・学習状況調査からは、「ゲームやテレビに費やす時間が多く、睡眠時間が少ない」という結果が出ています。「学びウィーク」などを活用して、家庭での生活時間を見直してほしいと思います。

V 安全対策

「スクールゾーンをスピードを出して通行する車がある」という意見が複数件ありました。毎年行っている「スクールゾーン対策委員会」で、警察官に取り締まりを依頼します。

「不審者対策が不十分」という意見がありました。児童が被害を受けた（受けそうになった）事案については、随時、警察や青少年センターに連絡し、ふれあいメールで流してもらっています。また、警察や地区の補導委員さんは、それらの情報も参考にしながらパトロールをしてくださっています。学校からは、緊急性、凶暴性等を考慮して、必要と判断したもののみメール配信しています。

本校は、集団登校はしていませんが、登校も下校も、近くのお友達と一緒にできるとよいと思います。特に下校時は、そのように指導しています。また、各町会で下校時の見守りもしてくださっています。ご苦勞に感謝いたします。

下校時刻を過ぎても遊んでいる児童がいます。暗くなる前に家に着けるようにするとともに、居残り等で下校時刻が遅くなる場合には、ご家庭に連絡いたします。

ご家庭でも、子どもたちだけで外出させる場合は、行き先や帰宅時刻、一緒に行く友達などを必ず聞くようにしてください。なお、ゲームセンターやカラオケなどへは、子どもだけで行くことは禁止しています。

VI 夢や希望

「志プロジェクト」が、いろいろな広がりを見せて楽しみです。今後も、子どもたちの志を大切にしながら、楽しいことを企画していきたいと思います。

(3) 来年度の重点目標

上記の分析から、以下の2つを来年度の重点目標に設定したいと思います。

- ① 高学年のすべての児童が「宿題を含めて〔学年×10分くらい〕学習や読書をしている」と答えることを目指す。
- ② 「(我が子は)進んであいさつをすることができる」と答える保護者80%以上を目指す。

この二つは、本年度も課題でした。残念ながら、課題解決はできなかったということです。現在、新たな手立てを考え中。よいアイデアがありましたらお知らせください。お待ちしております。